

2023/03/23 木曜日 14:41

西川祐子さま

21日は貴重な時間を過ごすことができました。
ありがとうございました。

せっかく資料等を準備して下さったのですが、今でなければ話せないことのお話をしたいと思っていたので、しかも同様に、麦子さんが録音の体制を整えていらっしまったので、そちらに時間を割きました。

夢中での2時間、後半は麦子さんの、「その時」の、こちらの狙いだっところを的確に突く問いの数々に、思わず嬉しくなり、余分なことも話したように思いました。
私のしゃべり過ぎでした。しかし普段の西川さんとのお話とも異なる、新鮮で、あらためて「あの時」を浮かび上がらせる方法がそこに生まれていたように思います。「時」に踵をつかまえられながら お話のできたのも麦子さんのおかげだと感謝いたします。

最後、立ち話で、「柳沢健」さんのことで「ドキュメンタリー」と申し上げましたが、その「方法」を思ったからでしょうか。1980年前後は「ハンガリーのドキュメンタリー映画」が東京で多く放映され、影響を受けたと思います。動きつつ、「見えてきた(中動態)」総体としての景色と雰囲気を味わいながら歩いて生きたことが、やはり私自身のことだったかな、と帰りの新幹線で考えていました。

帰りのタクシーは東山の山上を通り、三十三間堂に降りてくるとコースを通りました。街中が混んでいるだろうという理由でしたが、これまた新鮮でした。行くときも鴨川沿いの可憐な桜とたっぷりとしたユキヤナギが誠に見事でした。添付したのは、帰ってから見た団地一階の私の家の窓から見える満開の桜です。



また、京都の青もみじも見に行きたいと思いました。

エンドウの白い花がいっぱい咲いて来ました。文教研もあと10日ほどですが、まあまあの動きで進めていきます。

カツサンド大変美味しくいただきました。話に夢中で、出されたお菓子も食べなかったような記憶です。以前のアルジェリアの料理もあまり食べず、いつも申し訳なく思っています。

では、お元気でお過ごしください。麦子さんにもよろしくお伝えください。ありがとうございました。

2023/3/23 相京 範昭